令和4年１１月 港文化小劇場催し物のご案内

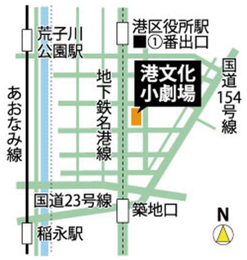
開催日	催事名	開催時間	問い合わせ先	入場料
3日 （木・祝）	田中洋子ピアノ教室発表会	開演　13:30 終演　15:30	田中洋子 090-5308-9939	無料 （どなたでも入場可）
9日 （水）	みなとシネマ～なつかしの邦画特集～ 「赤いハンカチ」	開演　10:30 終演　12:10 開演　14:00 終演　15:40	港文化小劇場 052-654-8214	全指定席 500円 （チケットのご予約を承っております）
10日 （木）	みんなとみなとコーラスの練習	16:00～	港文化小劇場 052-654-8214	練習受講料 500円/回
19日 （土）	港生涯学習センター 第43回 文化祭	開演　10:00 終演　12:30	港生涯学習センター文化祭実行委員会 052-653-5171	無料 （どなたでも入場可）
22日 （火）	（一社）中川法人会主催 「年末調整説明会」	①10:00-12:00 ②13:30-15:30	一般社団法人　中川法人会 http://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/nakagawa/ 052-321-2830	無料 （どなたでも入場可）
23日 （水・祝）	０・１・２シアター　劇団そらのゆめ 「カメジローおつかいにいく」	開演　11:00 終演　12:00	港文化小劇場 052-654-8214	全指定席 ペア1,000円 シングル700円
24日 （木）	みんなとみなとコーラスの練習	16:00～	港文化小劇場 052-654-8214	練習受講料 500円/回
30日 （水）	隠れ家コラボ vol.5 ～おはなしぴあの＆音楽劇～	開演　18:30 終演　19:40	隠れ家コラボ 080-5166-6428（村上）	前売・当日 1,500円 高校生以下 1,000円 名古屋市文化振興事業団 友の会 1,300円 （前売のみ）

※　予期なく主催者の都合により記載内容が一部変更になることがあります。
※　催し物の時間・内容が変更されることがありますので、詳細は各主催者にお問い合わせ下さい。

◆◆◆ 施設をご利用のみなさまへ ◆◆◆

港文化小劇場

名古屋市港区港楽二丁目10番24号
TEL　052−654−8214
FAX　052−654−8215
■受付時間
休館日を除く　９：００～２０：００
日曜日、祝日は９：００～１７：００
（web上による先着順仮受付は24時間）
■休館日
月曜日（休日の場合は翌平日）



【交通アクセス】

・地下鉄名港線「港区役所」駅１番出口より南へ徒歩３分

・あおなみ線「稲永」駅より、市バス港区役所行き「港郵便局」バス停すぐ

さまざまな公演イベント情報を配信！
mag@bunka758.or.jp
ご希望の方は携帯・ＰＣから空メール（件名・本文なしのメール）を送って読者登録してください。
メルマガ会員募集!! ブンカなどや情報 購読無料

「友の会」会員募集中！ http://www.bunka758.or.jp/

この印刷物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

カーエンジニアの総合学校　入学生募集中！
〒455-0015　名古屋市港区港栄 1-7-12　TEL　052-653-4123
学校法人 日産学園
専門学校 日産愛知自動車大学校
港区役所駅から徒歩１分

みんなとみなとコーラスメンバー募集中!!　くわしくは港文化小劇場 (052)654-8214まで お気軽に!!

港文化小劇場情報

みんなと通信

2022年 11月

表紙のうた

「雨降りお月さん」
作詞　野口雨情
作曲　中山晋平

①雨降りお月さん　雲の蔭
お嫁にゆくときゃ　誰とゆく
ひとりで傘　さしてゆく
傘ないときゃ　誰とゆく
シャラシャラ　シャンシャン　鈴付けた
お馬にゆられて　濡れてゆく
②いそがにゃお馬よ　夜が明けよ
手綱の下から　ちょいと見たりゃ
お袖でお顔を　隠してる
お袖は濡れても　干しゃ乾く
雨降りお月さん　雲の蔭
お馬にゆられて　濡れてゆく

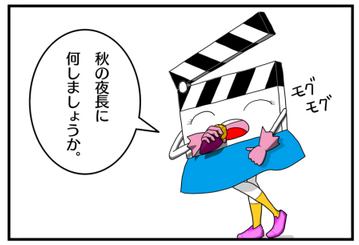
平成１９年、日本の歌百選にも選ばれるほどよく知られている「雨降りお月さん」が今回の表紙のうた。
大正１４年に発行された「コドモノクニ」正月増刊号で発表された野口雨情作詞の童謡で同じ年３月に発表された「雲の蔭」という曲と合わせて「雨降りお月」というタイトルで昭和４年に佐藤千代子がレコード発売し１５万枚の大ヒットを記録しています。

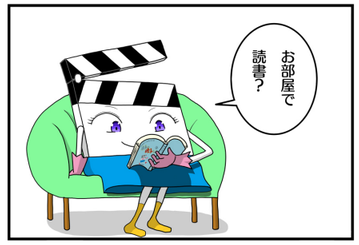
小さな自宅家族葬から家族葬専用ホール完備の㈱名港葬儀へお任せください
名古屋市文化振興事業団「友の会」または「めいこうくらぶ」会員は
会員証ご提示でお葬式プランが２０％割引でお得になります
0120-17-1885　港区港楽3-13-17
無料会員受付中！

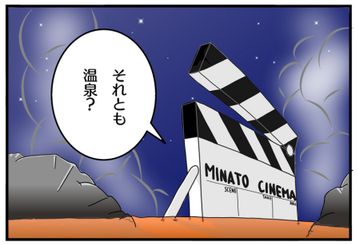
盲導犬育成は皆様のご支援で成り立っています。
会費会員募集中！！（税額控除を受けられます。）
社会福祉法人中部盲導犬協会
電話番号：052-661-3111
http://www.chubu-moudouken.jp/

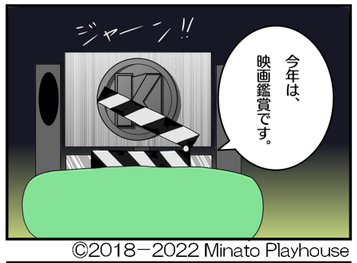
映画の映子ちゃん(55)

秋の夜長



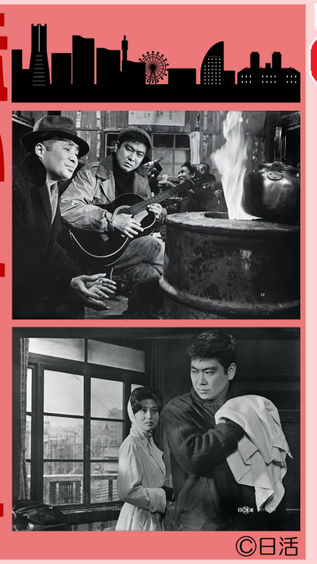






©2018−2022 Minato Playhouse

赤いハンカチ



みなとシネマ ～なつかしの邦画特集～

11月9日(水)

みなとシネマ ～なつかしの邦画特集～
「赤いハンカチ」
友人刑事の奸計に陥ち、刑事をやめて暗闇の三年間を過ごした男の復讐劇。
裕次郎の同名ヒット曲を映画化した日活ムードアクションの傑作。

1963年日活 98分
開催 11月9日（水）
①10時30分～
②14時00分～
料金 500円(全指定席)
お電話での予約可
問合 港文化小劇場
(052)654-8214

0・1・2シアター

おむつがえ 授乳スペース

カメジロー おつかいにいく

11月23日(水・祝)

11:00開演 (10:30開場)
ペア1,000円
シングル700円
出演：劇団そらのゆめ
◀◀◀予約はこちらから

チケット：全指定席 定員190名
①電子チケットサイト teket にアクセス
②teketで予約券を申し込み
（当日お越しになる人数分の予約券を発行してください）
③当日劇場にてお支払い

スマホでアクセス
映子のお気に入り
ストレンジ・ワールド
もうひとつの世界
ポップで幻想的な淡いピンク色に包まれた世界。伝説的な冒険一家であるクレイドー家が迷い込んだ“奇妙な”世界での親子３世代での冒険を描く「ストレンジ・ワールド／もうひとつの世界」。かつて大ヒットを遂げた『ベイマックス』や『ラーヤと龍の王国』を手掛けたドン・ホール監督の新作アニメーションがこの冬、いよいよ劇場上映されます。ディズニーランドのアトラクションに乗り込んだかのようなワクワク・ドキドキ感であっという間に物語の中へ没入できることでしょう。本作は１１月２３日（水・祝）より全国ロードショーとなります。
※感染拡大防止のため予期なく上映開始日が変更になることがあります。
© 2022 Disney.All Rights Reserved.

12月の港文化小劇場

いぶき 明日を照らす、伝統の音色

12月10日(土)
14：00開演
(13：30開場)
3年ぶりの開催となった和楽器コンサート「いぶき」愛知県出身の若手演奏家たちが、刺激的な演奏を皆様にお届けします。和楽器による新たな音色を、ぜひお楽しみください！

チケット発売：10月12日（水）より
お問合せ：港文化小劇場
052-654-8214

臨時休館のおしらせ

港文化小劇場は舞台照明改修工事のため、下記の日程で利用を休止いたします。
工事期間中、ご利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

利用休止期間

令和４年１２月１２日(月)から
令和５年 １月３１日(火)まで

みんなとみなとコーラス

会場は港文化小劇場ですよ。

11月の練習日

11/10(木),24(木)
各回16:00～17:30
くわしくは劇場へお問い合わせ下さい。
（052）654−8214

名古屋市港文化小劇場 ホール競合受付 練習室先着受付 のご案内

港文化小劇場のホールは、文化活動を目的としたご利用の場合１年前からお申し込みが可能です。また練習室単独でのご利用の場合は、使用する月の２ヶ月前からお申し込みできます。

◆ホール競合受付 令和５年１１月分：
令和４年１１月１日（火）～１１月５日（土）
（期間中の休館日はございません。）
◆練習室先着受付 令和５年１月分：
工事による臨時休館につき受付いたしません。

館長のひとりごと

館長
@yuichi_sato

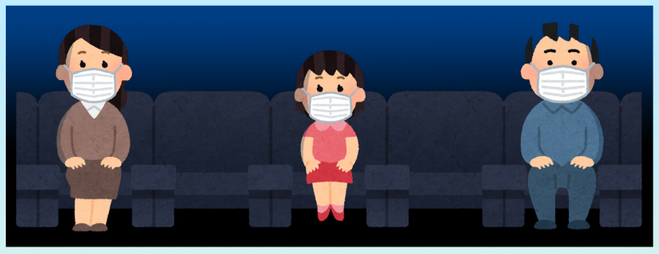
“いぶき”のススメ

今年もあと2ヶ月となりました。当劇場は来月12月12日から1月31日まで、工事休館となります。皆様にはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。

さて、今月のコラムは3年ぶりに開催となる和楽器コンサート「いぶき」のご案内です。12月10日（土）14時からの開催を予定しております。料金は千二百円で、1席ずつ空けて全席指定でのご案内となっております。
毎年満席でゆったりと見ることできませんが、今年はゆったりと見ていただけますので、ぜひお越しいただけたらと思います。
今年の出演者は杉山大祐、浅野聡太、平野透山で、津軽三味線、和太鼓、尺八のコラボ演奏です。チケットのお求めは各小劇場、チケットガイドもしくは、スマホで簡単に購入できる電子チケット teket でご購入下さい。指定席ですので、良い席から無くなっていってしまいます。皆様のお越しをお待ちしております！

みんなとみなとのコラム

劇場で働くということ２

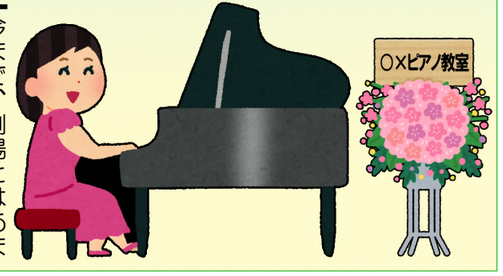


コロナ禍といわれる状態が未だ続いていますが、このあいだに劇場にも色々な変化がありました。

換気の問題、消毒の問題、体温計測の必要、マスクの着用、ソーシャルディスタンスと舞台演出の相容れないジレンマ。客席数の制限や無観客での公演収録、インターネットでの配信など数え上げたらきりがありません。

感染拡大を防止しつつ、公演を成立させるためにはどうしたらよいのか？正解のない試行錯誤が延々と続いている感じです。そんななか、ソーシャルディスタンスをとるために普段よりも広い空間を求めて劇場のご利用を検討されるお客様もあり、コロナ禍でなければご縁のなかったであろう催物なども入るようになってきました。

今まで、劇場とはあまりご縁のなかったお客様が下見にご来館され、「いやー、舞台なんて子供のころのピアノ発表会以来だわ。」などと言われるとちょっと嬉しい気持ちになったりします。もっと色々な人に利用して頂きたい。どんなきっかけでもよいので劇場を知って欲しい。という気持ちを改めて確認する瞬間です。



コロナ禍でいいことはあまりないですが、こういうご縁は大切にして、少しでも前向きに働いていきたいものです。
（ささき）